



# 伊都消防署便り

第 3 7 号



平成24年度導入(ポンプ車・防火衣)

- P 2 消防白書 2012
- P 3 年間行事・新人消防士の決意
- P 4 救急車同乗研修・突然死を防ぐ
- P 5 感謝状贈呈・パレード・職場体験

- P 6 防火ポスター
- P 7 防火標語
- P 8 大会参加記録・航空隊派遣

## 春季全国火災予防運動実施中 (3月1日~3月7日)



### 警報器 家族を守る 見張り番



平成24年度 伊都消防組合防火標語 最優秀賞 渋田小学校 西中 芳帆 さん

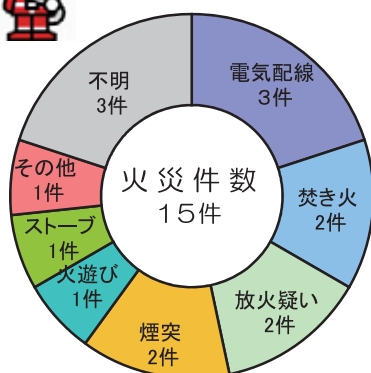
平成24年中に管内で発生した火災件数は15件で、昨年より3件減少しています。出火原因のほとんどが人的要因であることから、住民一人一人の心掛けで火災を予防、減少させることができます。

また、救急出動件数は1,634件で、昨年より66件増加しており、1日平均約4.4件出動したことになります。

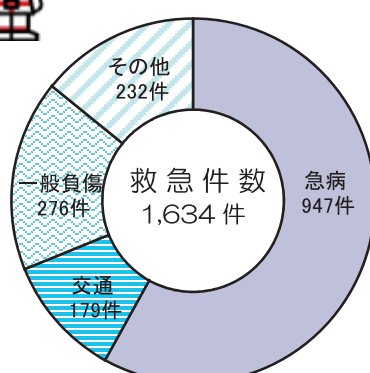
また、救助出動件数については15件となっています。



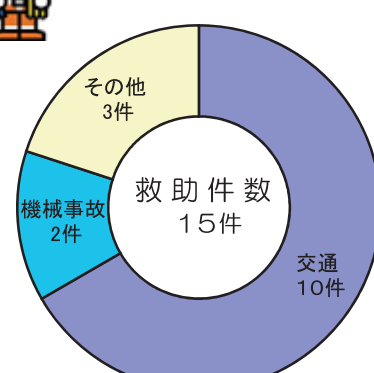
## 火 災



## 救 急



## 救 助



市町別 災害別	かつらぎ町	橋本市高野口町	九度山町	管 外	合 計
救 急	846件	559件	220件	9件	1,634件
火 災	8件	5件	2件	—	15件
救 助	11件	2件	2件	—	15件

## その他の出動件数

The Saving of a Life

種 別	警戒出動	救急支援出動	ドクターヘリ要請
件 数	34件	137件	16件



☆警 戒 出 動 … 火災並びに各種災害発生の危険性がある場合に出動する事

☆救急支援出動 … 傷病者が心肺停止・呼吸停止している場合若しくは活動が困難であると予想される場合又はドクターヘリ要請時において地上の安全を確保する為に消防隊が出動する事

☆ドクターヘリ要請 … 重篤な傷病者をドクターヘリにて搬送する事



昨年の主な行事

- 一月
  - 伊都消防組合管理者特別点検
  - 消防出初式
  - 文化財防火デーに伴う消防訓練参加
- 二月
  - 東日本大震災福島原発事故消防防活動講演 (講師 東京消防庁 高山氏)
- 三月
  - 春季全国火災予防運動実施
- 四月
  - 新規採用職員任用(1名) (県消防学校入校)
- 五月
  - かつらぎ町役場新規採用職員研修
- 六月
  - 第41回和歌山県消防救助技術大会参加
- 八月
  - 心肺蘇生法講習会(保育所・幼稚園・小学校等)
- 九月
  - かつらぎ町防災訓練(渋田地区)
- 十月
  - 普通救命講習会(一般住民対象)
  - 救急救命九州研修所 第29期派遣(1名)
- 十一月
  - 新規採用職員任用(1名)
  - 緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練(神戸市)
- 十二月
  - 秋季全国火災予防運動実施
  - 年末火災特別警戒実施



新人消防士 決意



南方邦宏



昨年四月に伊都消防組合消防本部に採用されてから半年間、和歌山県消防学校で、消防士として必要な技術や知識、節度やマナーに至るまで訓練や座学、日々の生活の中で学んできました。厳しい寮生活を県内の新人消防士達と支えあい、切磋琢磨しながら乗り越えられたことで、「チームワーク」の大切さを身をもって知ることができました。十月から消防署に配属され勤務していますが、先輩方の経験の豊富さ、知識の広さに、私は圧倒される毎日を送っています。多くのことを吸収し、今できることをしっかりとこなして成長し、住民の皆様への安心・安全な生活を守っていききたいと考えています。

また、私は一昨年まで新宮で暮らしており、同年九月に発生した台風十二号による紀伊半島大水害により、被災者の一人となってしまいました。テレビや新聞で見る映像や写真が他人事では無く現実のものとなりました。この経験から私は「準備」を大切にしています。日々の生活はもちろん、消防士として、一秒でも早く現場に駆けつけ、一人でも多くの人を助けるために「最高の準備」をしています。

地域の方々と共に防災意識を持ち、災害に対する準備をし、地域と消防のチームワークをより強くすることをこれからの私の目標とし、努力していききたいと思っています。



林 晃史



昨年十月から伊都消防組合消防本部に採用され、現在は本部職員として警防課に配属されています。

私はまだ実際の現場には出勤していませんが、訓練での先輩方の無駄のない動きと、一刻と変化する状況の中で臨機応変に対応する冷静さを間近で見ることが、早く先輩に近づけるよう、毎日が勉強の日々です。

今まで何気なく暮らしていましたが、このような方々にこの街を守って頂いていたんだなと感謝の気持ちも生まれました。

これからは、私も街を守る一員として住民の方に信頼され、安心を届けられる消防士を目指して精進していききたいと思っています。



# ～突然死を防ぐために～

突然、心臓や呼吸が止まってしまった人を救うためには、そばに居合わせた人が救命処置をすることが大事です。このような事態は、何の前触れもなく起こることもありますが、前触れが見られることも少なくありません。この前触れに気づき、心臓や呼吸が止まってしまう前に119番通報をして救急車を呼ぶことができれば、助かる可能性が大きくなります。

## 《成人》

成人の突然死の主な原因は急性心筋梗塞や脳卒中です。初期症状に気づき少しでも早く病院に行って治療を始めることが重要です。以下のような症状が起こったら、ためらわず119番通報をしてください。

### (1) 急性心筋梗塞

急性心筋梗塞の症状は「胸の真ん中に突然生じて持続する強い痛み」「胸が締め付けられるような重苦しさ・圧迫感」「胸が焼けつくような感じ」などがあります。



### (2) 脳卒中

脳卒中は、脳の血管が詰まったり、破けて出血したりすることによって生じます。症状は体の片側に力が入らなくなったり、しびれを感じたり、言葉がうまくしゃべれなくなったり、ものが見えにくくなったりします。最悪の場合は呼吸が止まって死んでしまいます。また、くも膜下出血では、生まれて初めて経験するような非常に強い頭痛に襲われます。



## 《子ども》

子どもの突然死の主な原因は外傷、溺水、窒息などの事故ですが、その多くは日常生活の中で十分に注意することで予防できるものです。突然死につながるような事故を未然に防ぐことが一番効果的です。自動車でのチャイルドシート使用、自転車でのヘルメット着用、水の事故への注意、小さな子どもの手の届くところに口に入る大きさのもの（標準的なトイレトーパーの芯を通過するような大きさのもの）や中毒の原因となるような薬品や洗剤を置かないなどの配慮が必要です。また乳児の突然死の原因として知られている乳児突然死症候群は、家族の喫煙やうつぶせ寝を避けることでリスクを下げる可以做到といわれています。



林 理恵 看護師

昨年9月の救急医療週  
間中、救急隊員の知識の向  
上、傷病者に対する適切な  
観察及び看護の必要性を  
学ぶこと、更には医療機関  
とのネットワークの充実、  
医療関係者とのコミュニ  
ケーションを深めること  
を目的として和歌山県立  
医科大学附属病院紀北分  
院の関係者（研修医師や看  
護師）に「一日救急隊」を  
体験していただきました。

## 救急車同乗研修





「火災の拡大を防止」

かつらぎ町 森 健二 様  
森 由美子 様

建物火災に気付くやいなや、119番通報を実施し建物内から助けを求めている住民を助け出し更に初期消火を行い火災の拡大を防止されました。



「勇気と行動力を称え」

紀伊高原ゴルフクラブの皆さま

ラウンド中の男性が心肺停止状態となったため、ゴルフクラブ従業員とその場に居合わせた医療従事者により心肺蘇生法とAEDによる2回の除細動を施し、男性はゴルフ場内で意識が回復、その後病院へ搬送され社会復帰されました。

感謝状贈呈



妙寺・笠田・高野口各中学校と笠田高等学校の生徒達が実際に消防署の仕事を経験する「職場体験学習」を実施しました。

職場体験



秋季火災予防運動に伴い、幼年消防クラブ員達が防火パレードを実施し、地域の住民の皆さまに防火を呼びかけました。

火災予防



おねがい

『火災発生時の問い合わせについて』

火災発生時に「場所はどこですか?」「どこのお宅が燃えていますか?」という問い合わせが非常に多く、通信指令室から火災現場への状況報告や消防団の招集、関係機関への連絡等、全ての業務に支障をきたしています。

決して119番や22-0119番へ、上記問い合わせはしないようにお願いします。

火災発生時のお問い合わせは下記へお願いします

火災情報専用電話 23-2133

※場所を機械で発声するのみで、応答はできません





平成二十四年度『防火ポスター』『防火標語』入賞作品

少年期から防火に対する知識を身につけ、家庭及び学校生活において火災予防の徹底を図ることを目的として、管内の各小学校4年生を対象に防火ポスター、5年生を対象に防火標語を募集しましたところ、多数の応募をいただきありがとうございます。  
これら応募作品を厳正に審査したところ次の方々が入賞されました。



特選・優秀作品



平田アサリ (高野口)



森田帆風 (応其)



碓大祐 (信太)



上土谷京花 (河根)



木村瑠吉 (妙寺)



溝北知央 (大谷)



米阪成敦 (妙寺)



海堀佑介 (九度山)



土居篤史 (九度山)



丹田なのは (渋田)



岡本あおい (妙寺)



加勢田理瑚 (応其)



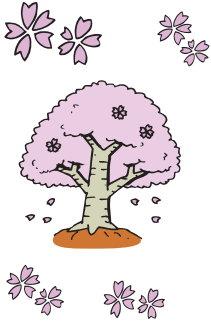
上田春日 (高野口)



樋口愛詩 (笠田)



井上莉子 (妙寺)



堀凧沙(高野口)



奥田臣(河根)



野中亮甫(九度山)



入選・優良作品



狭間千代(九度山)



小林久展(信太)



清水月恵(高野口)



岩城未緒(応其)



竹本悠我(洪田)



阪本希望(応其)



浅井晴翔(大谷)



山陰紗季(妙寺)



玉置亜成(笠田)



平岡愛梨(妙寺)



山本菜都己(笠田)



森本夏樹(妙寺)

(敬称略)

最優秀賞

警報器 家族を守る 見張り番

優秀賞

消したかな 確かめあって 火災ゼロ

使った火 きちんと消えたか 再確認

消しました? あなたの油断が 命とり

してはダメ たばこポイ捨て 禁止令

小さな火 油断できない 消すまでは

最後まで 消えたかかくにん 火のチェック

消したかな 思いだすより 目で確認

佳作

気をつける 小さな火でも 火事起こす

コンセント まわりのホコリも 火事の元

たしかめよう 人にまかせないで 自分から

消し忘れ ただそれだけで 大火事に

火災報知器 つけてそのうえ 火の用心

もう一度 消したか確認 火の始末

火のしまつ その手で消火 その目で確認

火をつけた あなたはそばからはなれるな! 高野口小学校

お母さん 長電話の前に 火をとめて

消したかな 不安だったら 確認を

小さな火 目をはなしたら 大きな火

消したはず 家を出るとき 見なおそう

消し忘れ 後から悔やむ 火事のもと

洪田小学校

西中 芳帆

妙寺小学校

森本 美海

大谷小学校

小松原 蒼大

高野口小学校

林 葵

応其小学校

住田 孝司

九度山小学校

米澤 麻由紀

九度山小学校

福田 亮子

河根小学校

枅井 愛理

妙寺小学校

井本 成紀

洪田小学校

岡本 都

三谷小学校

山本 彩夏

三谷小学校

宇野 篤彦

天野小学校

岡田 千咲

高野口小学校

脇田 友香

高野口小学校

福井 佑麻

高野口小学校

福井 佑麻

高野口小学校

妙中 正真

高野口小学校

深野 葵

高野口小学校

椿山 結衣

応其小学校

脇田 絵里

信太小学校

平田 夢叶

九度山小学校

井上 智貴

(敬称略)







消防士 堀 隼夫

昨年10月に開催された和歌山県消防職員意見発表会に当消防本部の代表として九度山町在住の堀隼夫消防士が出場しました。

発表会では、東日本大震災で自ら和歌山県隊として活動した体験をもとに防災意識の向上をテーマとした「六文銭の誓い」で見事に最優秀賞を受賞しました。

今年4月に開催される東近畿支部消防職員意見発表会へ和歌山県代表として出場します。



## RESCUE

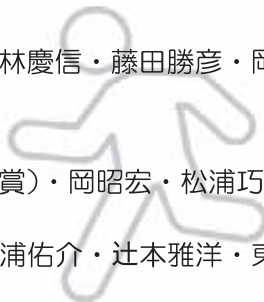
平成24年6月8日和歌山県消防学校において、第41回和歌山県消防救助技術会が開催されました。この大会は救助技術を安全・確実・迅速に行う事を目的としたもので日頃の訓練の成果を発揮し健闘しました。

- ☆ロープ応用登はん 4位 門 誠・山本健之
- ☆ロープブリッジ救出 6位 堀隼夫・辻本雅洋  
岡昭宏・松浦巧
- ☆ロープブリッジ渡過 8位 松浦巧
- ☆はしご登はん 14位 東大智

## 消防職員体育訓練大会

県下消防職員の体力及び気力の向上を目的として御坊市において第14回駅伝大会が実施されました。

- ☆ 壮年の部 ☆  
**優勝** 小藪芳久・小林慶信・藤田勝彦・岡本修明
- ☆ 選抜の部 ☆  
3位 堀隼夫 (区間賞)・岡昭宏・松浦巧・南方邦宏  
18位 山本健之・日浦佑介・辻本雅洋・東大智



消防士長 松下 正

この度、南紀白浜空港を基地として、平成8年3月から運航を開始している和歌山県防災航空隊に平成24年4月より3年間派遣される事となりました。

防災航空隊とは、県内の消防本部から派遣された消防職員が防災ヘリによる空中消火や、水難・山岳事故の捜索救助、救急患者の搬送等の活動を行います。

この派遣で、県民の生命・身体・財産を空から守れるよう日々訓練に励み、今後とも皆様の期待に添うべく誠心誠意業務に取り組みたいと思います。

## 和歌山県防災航空隊

被災地の1日も早い復興を願い、また東日本大震災により被害を受けた消防本部、消防職員とその家族を応援するため、鹿児島県鹿児島市から宮城県石巻市までの約3千キロを有志で募った全国の消防士たちがタスキをつないで走る「消防士タスキレー」が震災から1年目の3月11日にスタートしました。

5月24日には当消防本部からも5名が参加し、被災地や仲間にも元気を届けたいと思い、このタスキをつないできた消防士たちの絆を胸に走りました。このタスキは9月11日に石巻消防本部に無事ゴールしました。

